



バランスと調和

心技体の充実を目指して！

1.11(土) 林田壮真さん(3-4)は、R6年度熊日スポーツ賞(ボーリング競技)を受賞されました。(おめでとうございます。)

私も一緒に授賞式へ参加しました。その中の受賞者代表挨拶では、「心技体」について話があり、とても興味深かったので紹介します。

話の内容は、全国で優秀な成績、トップレベルで競技に取り組むためには、やはり「心技体」の充実が必要であるということでした。

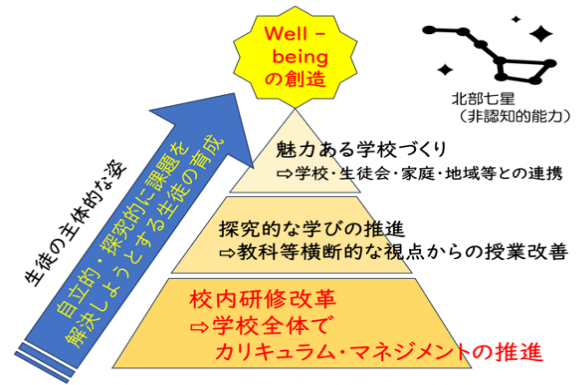
また、「心技体」について、「若いころは、とにかく体を鍛えること。次に技を磨くこと。そして、年齢と共に衰える体と技を心でカバーすること。」と習ってきたことを話されました。

しかし、「最近、若いころから「心」を磨くことが競技力の向上に関係しているので大事にしてほしい。」ともお話しされました。

私は「心技体」について、バランスや調和が大事であると習ってきました。バランスとは分量がちょうどよい状態を表し、調和とは、全体がよい状態になるためお互いが補完しあう状態を表します。「心技体」は、分けたり、兼ねたりするものではなく、全てバランス・調和をセットで充実させていく必要があります。

また、「心技体」の順番について、見えない順番と習ってきました。心の中は、誰にも見えません。技も一瞬の出来事です。体は長く見ていくと変化が感じます。成果や結果を出すことは、容易ではないことの例えだと思います。

新しい年が始まり、皆さんも新たな目標に向かって歩み始めていることでしょう。中学校生活をより充実させるために、「心技体」の充実を目指して頑張ってみませんか。



カリキュラム・マネジメント実践発表

北部中学校は、R6 熊本市教育センター研究モデル校として、カリキュラム・マネジメント(学校改善)に関する教育実践に取り組んでいます。

その成果の発表として、熊本市内外の先生向けにオンデマンドコンテンツ発表を1.14(火)に行いました。コンテンツは、生徒の皆さんを中心に学校・保護者・地域・行政等と連携して取り組んだ「北部文化の日」に向けた教育活動の営みを中心に紹介したものです。

カリキュラム・マネジメントとは、常に活動しながら状況を振り返り、より良い改善を目指すことを指します。R6年度を振り返り、R7年度をどのように改善するのか、一人一人の考えを深めることは、とても重要なことと思います。

寒い中だからこそ! (緑化相談会)



1.15(水)は、市の緑化相談会が行われ、坂本先生、安武先生と市緑化相談員の皆さんで、北部中の樹木の確認を行いました。冬場の寒い中だからこそ、より良い樹木の育成や安心・安全な環境づくりのために確認と手入れが必要になります。

また、北部 SDGs 緑化コースの寂心さんの大樟チームも、冬場の手入れについて樹木医さんと相談会を行いました。



寒い中の環境緑化推進ありがとうございます。